1【校長のビジョン実現のための構想づくり】

職員に積極的にかかわってほしい。組織で動 いて、実現したい。

校長のビジョンに対す る職員一人一人の共 通理解を図りたい。

教頭としての戦略の 構想を、自分できち んと把握したい。

校長のビジョン実現のため、教職員一人一人や各組織それぞれの望ましい取り組み方をイメージしてメモ書きし、各組織への働き掛けも含めて、構想を流れ図に示している。

職員に分かりやすく示すために、校長のビジョンと学校の様々な教育活動との関連をビジュアル化したり、共通理解を図るためのワークシートを作成したりしている。

学校内外の人的・物的環境についてSWOT分析し、強みや弱みを把握した上で、全体的な構想を図に表している。







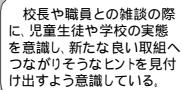
示された校長のビジョンについて、その実現のための構想を練っている。

2【 新たな取組の発見とその実現への構想づくり】

職員のアイデアを 引き出し、生かした い。



雑談の中で、新たな良い取組につながりそうな事柄について、コーチングの手法を用いて 具体的なイメージとして引き出し、実現に向けての構想を練っている。 より良い児童生徒・学 校を求めて新しい取 組をしたい。



教育活動のマンネリ 化を防ぎ、学校を活 気付けたい。

日常の教育活動について 雑談的に校長や職員と話し、 視点を変えた見つめ直しを する。そのことで改善へのき っかけをつかみ、構想に生か している。







児童生徒や学校のためになると思われる新たな事柄を見いだし、実現に向けて構想を練っている。

まず行動を起こす → (共に考え行動する) →

_ 力をまとめる) ⇒

確かめ合う

3 【現状の取組をより良くするための構想づくり】

職員の思いや願いを 生かしたい。

学校内外のあらゆること を想定して、職員一人一人 の活躍の場を構想し、計画 的に位置付けている。

取組の積み重ねがで きるようにしたい。

課題と改善の方策を 職員に意識化させた L1.



手順や段取りの区切りを 意識し、短期的、中・長期的 なスパンで取組の振り返り を位置付けている。

分掌組織を基本としたチ ームごとに、課題を類型化 させ、それぞれの解決への 改善策を全体で交流させ る機会を作っている。







より良い成果を目指して、複数の構想を練っている。

4【 率先した行動で範を示す取組】

仕事への自分自身の 取り組み方や言動で、 職員をより良く変えて いきたい。

職員のモチベーション を高め、積極的に取り 組むようにしたい。

学年や部会の各主任 に、経営的な視点の 力を付けたい。



文書の作成や処理を的確に 素早く行ったり、電話や来校者 への応対を率先して行ったり などしている。このことを職員 への模範と意識して行動して いる。

困難な場面でも、前向 きに挑戦する考え方や態 度を示す。このことを職員 への模範と意識して行動 している。

各主任が参加する会議におい て、校長の意思を図示して伝えた り、メンバー全員が生きる運営を したり、行政や保護者・地域も配 慮した発言をしたりしている。こ のことを職員への模範と意識し て行動している。







仕事に対する意識などについて、自らの行動で模範を示している。

まず行動を起こす

├── (共に考え行動する) ──

- (力をまとめる)

→ (確かめ合う

5 【 学校課題に対応した改善計画の立案 】

それぞれの組織を活性化させて課題解決 に当たり、学校の力 を伸ばしたい。

職員一人一人の取組 を、課題解決に向け た同じベクトルのもの にしたい。

課題に対する職員一人一人の取組を振り返らせたい。



課題に深く関係する分掌の トップへ働き掛けて、組織と して取り組める行動計画を共 に立て、全体で発表会をする などして検討している。 各組織の改善計画のワークシートを、職員一人一人の 取組が位置付くように工夫するとともに、学校全体の改善 計画につなげている。 課題に対する各自の取組 と改善策を、「学年や分掌等 の組織 全体」の流れで交 流できる時間と場を設定し ている。







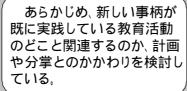
学校評価により明らかになった課題に対応した改善計画を立てている。

6【新しい事柄の職員への提案方法の立案】

校長からの提案を上 手に職員に伝えた い。



児童生徒からみた長所、一 人一人の職員からみた長所、 学校全体からみた長所を、具 体的な場面を想定しながら検 討している。 現在の教育活動と 絡めながら伝えた い。



職員の負担増への 対策を立てておき たい。



新しい事柄を取り入れることによる職員の負担増を、一人一人の職員について把握し、他の教育活動との関連にも配慮した具体的な改善計画をもっている。







新しい事柄を学校に取り入れる際には、そのことの長所を具体的な事例で説明できるように準備している。